

## 記事内容

- ☆第23回地方委員会
- ☆第23回地方委員会 会長挨拶(要旨)
- ☆新任役員紹介/退任役員紹介
- ☆第20回統一地方選挙必勝セレモニー
- ☆第23回地方委員会フォト/テレ玉近藤会長お正月番組
- ☆ネット21ボランティアカード
- ☆ネット21パソコン贈呈式/12月の行動日程
- ☆あけぼのビル

## 2023年度の活動計画と 第20回統一地方選挙に向けた意志合わせ

### 第23回地方委員会開催



連合埼玉は11月17日(木)、第23回地方委員会をときわ会館にて、役員・地方委員など、約100名参加のもと開催しました。地協特別地方委員など26名はWEB会議システムにて参加しました。

また、埼玉県、さいたま市、労働福祉団体、政党(立憲民主党、国民民主党)から7名のご来賓にご臨席賜り、ご挨拶いただきました。

地方委員会の中では、報告事項として2022年度活動経過報告、会計報告、議事項目2023年度活動計画、2023年度予算、役員の補充選出について審議され、全ての議案が満場一致にて承認されました。その後、第20回統一地方選挙必勝決議の採択の後、「第20回統一地方選挙必勝セレモニー」を連合埼玉推薦候補予定者35名の出席のもと、開催しました。セレモニーの最後には今井副会長の「ガンバロー」の発声で全員の当選に向けた意思合わせをおこないました。

2023年度も連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会-まもる・つなぐ・創り出す-」の実現に向け、取り組んでまいります。

### 連合埼玉第23回地方委員会での 報告事項及び議事内容

#### 【各種報告】

- 1)2022年度 活動経過報告
- 2)2022年度 会計報告
- 3)2022年度 会計監査報告
- 4)特別報告
  - ①2022年度「埼玉県労働委員会」報告
  - ②2022年度「埼玉地方最低賃金審議会」報告

#### 【議事】

- 第1号議案 2023年度 活動計画(案)について
- 第2号議案 2023年度 予算(案)について
- 第3号議案 役員の補充選出について

#### 【その他】

- 第20回統一地方選挙必勝決議(案)の採択
- 第23回地方委員会アピール(案)の採択

# 連合埼玉第23回地方委員会 挨拶要旨

会長 近藤 嘉



近藤 嘉会長

連合埼玉は、昨年（2021年）11月17日の第17回定期大会で、2022～2023年度運動方針を確認いただき、1年が経過しました。改めまして、1年間の活動へのご尽力に、敬意を表するとともに、「働くことを軸とする安心社会 一まもる・

つなぐ・創り出す」の実現にむけ、諸活動に携わっていただきました。すべての団体・皆様に心より感謝を申し上げます。

## 【2023春季生活闘争について】

2022春季生活闘争では、コロナ禍での影響はあったものの、2015闘争以来の高い賃上げを実現することができました。その流れを10月1日より適用となった地域別最低賃金にも波及させることができ、埼玉県においても過去最高の31円の引き上げとなったことは、「底上げ」、「格差是正」にむけ、大きな成果であったと感じています。

更に、この流れを2023春季生活闘争にも繋げていかなければならない。具体的な内容についてはこれからとなるが、日本の経済と社会を新たなステージへと変えていく転換点とすべく、私たちの取り組みが、これからの日本の未来をつくっていくことをしっかり意識しながら、展開していきたいと思ひます。

## 【労働組合の役割について】

言うまでもなく私たち労働組合の基本的役割は、組合員の雇用を守り労働条件を維持・向上させることであり、暮らしの安定をはかることです。また、社会保障や税をはじめとして企業内の労使間だけでは解決することのできない、社会的諸課題の解決にむけても、組織内や推薦議員、上部団体をつうじながら、国や自治体に対して働きかけていく、働く者・生活者の視点に立った政策を要請、実現していくことです。

しかし、私たちは本当にその役割を理解した上で、活動をしているのか。

今年3月、組合員の雇用や企業運営そのものにも影響をおよぼすと同時に、労働組合の存在意義を否定されかねない事象が発覚しました。内容は長期にわたる「データの改ざん」という、重大なコンプライアンス違反です。この事象の発生を受け、当該企業は厳しい社会的な制裁を受けており、取引先や顧客の信頼を大きく失い、その後の経営にも多大な影響を与えています。また、すそ野の広い産業であることから、サプライチェーンに与えた影響は計り知れません。なぜ、労働組合がありながら、その様な事象が発生したのか、防ぐことが

できなかったのか。全てが企業だけの責任ではなく、そこに労働組合があれば、経営に対するチェック機能を果たせていない、労働組合の責任でもあることを強く認識すべきである。

私たちの活動を支えているのは、「活動の原点は職場」という考え方であり、職場における日常の組合員とのコミュニケーションを充実させていくこと、職場活動を活性化させていくことが、全ての活動のベースになります。労働組合に対する信頼は、職場での日常活動で積み重ねられた1つの信頼の上に成り立っており、身近な役員の行動によって構築されるものです。そして職場の問題解決にあたって大切なのは、100回の感想より1つの事実であり、組合役員は三現主義（現場・現物・現実）にもとづき、常に職場の実態把握をしていくことが重要です。また、働く人の立場で問題意識をもち、職場環境や働き方など「職場」を見ることが大切です。それらを積み重ねていくことにより、どんなことでも相談できる相互信頼・信頼関係が生まれ、風通しの良い、より透明な組織運営ができるのだと思ひます。現場で仕事をしている組合員からの情報や、職場の最前線で活動をしている組合役員が実際に現場を見て肌で感じ取った情報は、労働組合しか知りえない情報となり、それは会社にとっても貴重なものとなります。反面、労働組合の情報が会社の持っている情報と同等、もしくは会社情報のカテゴリーでしかなくなった時、労働組合の存在価値は低下し、信頼を失うことになります。

そうならない為にも、様々な産業・企業で発生している事象に対して「対岸の火事」で終わらせてはいけません。都度、労使での共有とともに自組織・職場に置き換えて考え、真剣に組織点検をおこなってほしいと思ひます。労働組合として役割を強く意識し、ルールの間隔を正確に保っているかどうか、労働組合として正常に機能しているかどうか、是非検証をお願いします。

## 【政治の取り組みについて】

7月10日におこなわれました、第26回参院選につきましては、埼玉選挙区（4人区）に15名の候補者が乱立した中、連合埼玉として推薦をした、無所属の上田清司／立憲民主党公認の高木真理、2人ともに当選を果たすことができました。

来年4月には統一地方選挙がおこなわれます。地域に根差した政策を実現するとともに、野党勢力の細分化・弱体化が常態化する中で、働く者・生活者の立場に立つ政治勢力の結集・拡大をめざしていくための基盤を、ここ埼玉県からつくっていく重要な闘いとなります。各構成組織／地域協議会の皆さんと十分に心合わせをしながら、闘う体制を構築していきたいと思ひます。そして、推薦候補予定者全員の当選にむけ、連合埼玉の総力を結集し、全力で取り組みたいと思ひます。

## 新任役員紹介

①産別・単組 ②抱負

### 執行委員 榎本 一也(えのもと かずや)

- ①自動車総連埼玉地協  
UDトラック労働組合
- ②この度、連合埼玉執行委員の役割を  
拝命させて頂くこととなりました、  
榎本一也と申します。埼玉で働く皆  
様とご家族の、さらなる安心・  
安定した生活のため、私の誠心誠意をもって努める覚  
悟です。なにとぞ前任者同様、ご指導ご鞭撻を賜りま  
すようお願い致します。



### 執行委員 高場 厚(たかば あつし)

- ①交通労連 埼玉交通運輸労働組合
- ②可能な限り現場である単組に訪問  
し、自分の目で観察・分析し、いっ  
しょに最良の組織運営となるよう  
に努めたいと思います。単組あつて  
の上部であることをスローガンと  
します。



### 執行委員 渋谷 志保(しぶや しほ)

- ①建設埼玉
- ②2013年から2年間、女性委員会幹  
事として連合運動に携わって以来  
となります。急激な円安による物価  
高騰により、実質賃金はマイナスと  
なっており、連合運動の重要度が更  
に増していると感じています。連合ビジョン「働くこと  
を軸とする安心社会」の実現に向け、微力ながら努めて  
いきますので、よろしくお願いいたします。



### 執行委員 木村 祐一(きむら ゆういち)

- ①JAM埼玉
- ②今回、初めて大役を仰せつかり、身  
の引き締まる思いであります。青年  
を代表して選出をいただきました  
ので、次世代のリーダー育成や青年  
層からの労働運動の展開に少しで  
も役に立てればと思っています。よろしくお願ひいたし  
ます。



## 退任役員紹介

①在任期間 ②産別・単組 ③ひとこと

### 前執行委員 古屋 光一(ふるや こういち)

- ①2018年11月～ 4年間
- ②自動車総連埼玉地協  
UDトラック労働組合
- ③4年に渡り執行委員を務めさせていた  
だきました。ひとえに執行部の皆様、組合  
員の皆様のご支援のお陰で何とか任期  
を全うできたのだと思っています。組合員の皆様が安心・安  
定した生活ができるよう産別の枠組みを越えた取り組み  
を、私なりに推進してまいりました。未だ労働環境は厳しい  
状況下ですが、連合埼玉がいっそうの前進がはかれること  
を祈っております。任期中の皆様からのお支えに心より感謝  
申し上げます。



### 前執行委員 牧 邦夫(まき くにお)

- ①2013年11月～ 9年間
- ②交通労連 埼玉交通運輸労働組合
- ③2013年11月より、連合埼玉執行委  
員として活動させていただきました。その間、大変多くの方々にお世  
話になりました。本来は、直接ご挨拶  
するところですが、この場をお借りしまして御礼申  
上げます。ありがとうございました。



### 前執行委員 大島 学(おおしま まなぶ)

- ①2019年11月～ 3年間
- ②建設埼玉
- ③執行委員として3年間お世話になり  
ました。この期間はすべてコロナ禍  
の中にあり、本来の活動ができな  
かったのかもしれませんが、その点で  
は忸怩たる思いもありますが、それでもたくさんの労働  
組合の皆様と知り合い、ご教授頂いたことは私の大  
きな財産となりました。ありがとうございました。



### 前執行委員 丹羽 宝宏(にわ たかひろ)

- ①2021年11月～ 1年間
- ②UAゼンセン埼玉県支部
- ③連合埼玉青年委員会委員長として、  
執行委員を1年間勤めて参りました。  
コロナ禍ということもあり、しっ  
かりとした活動ができませんでした  
が、青年委員会の活動をつうじ、連合埼玉の活動を  
知って頂く事を進めて参りました。  
今後も連合埼玉ならびに青年委員会の活動が活性化し  
て頂く事を期待しています。



# 第20回統一地方選挙 必勝セレモニー

～推薦候補予定者全員の勝利に向けて!～



必勝セレモニー参加者の皆様

来年4月に「第20回統一地方選挙」が施行される予定となっています。

そのような中、11月17日(木)にときわ会館にて「第23回地方委員会」を開催し、その中で「必勝決議」の承認をいただくとともに、「必勝セレモニー」を実施いたしました。

当日は、関口副会長より「第20回統一地方選挙 必勝決議」が提案され、地方委員の皆様の拍手により承認されました。その後、地方委員会を中断し、必勝セレモニーを開催しました。

「必勝セレモニー」では、これまで推薦確認(1次から4次推薦)をおこなった候補予定者45名の内35名が出席し、職場組合員へのPR・お願いをさせていただきました。中でも、当日出席した新人5名は、職場組合

員への初めてのお披露目であり、1日も早く名前と顔を一致させることが必要と考えます。

セレモニーの最後には、今井副会長の発声により、推薦候補予定者全員の勝利に向けて、連合埼玉執行部、地方委員などの皆様、地域協議会の皆様、そして推薦候補予定者の皆様などが一体となり、ガンバロー三唱を実施し、最後の最後まで闘い抜くことを確認し合いました。

## 【推薦候補予定者の内訳】

### <選挙別>

- 埼玉県議会議員選挙候補予定者 13名
- さいたま市議会議員選挙候補予定者 14名
- 市・町議会議員選挙候補予定者 18名

## 必勝決議

### 第20回統一地方選挙必勝決議

「第20回統一地方選挙」は、地域と住民の暮らしを守り、働く者・生活者の立場に立った政治勢力の拡大と地域基盤の強化、および政策・制度実現のために、推薦候補者全員の必勝を最優先におき、全組織一丸となって取り組む重要な闘いである。

また、新型コロナウイルス感染症の影響や物価高による家計の圧迫が、これまで以上に住民の足もとに経済情勢と将来に不安を増大させており、緊要感のある政治体制を確立しなければならない。

その前提となるのは、連合埼玉に集う構成組織・加盟組合・地域協議会、そして組合員一人ひとりと、政党および議員・候補者との信頼関係の醸成である。働く仲間を代表する社会的組織として、連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の実現に向けて、理念・目的・政策を共有するだけでなく、日本の政治活動の積み重ねの中で、信頼関係を築いていくことが重要である。

今後、働く者・生活者の立場に立つ政治勢力の結集・拡大をめざす中で、信頼を基盤においた緊密な連携により、政策実現への道筋を確かなものにしていく必要がある。

しかし、この度の選挙戦では、立憲民主党・国民民主党や無所属に分かれた立候補が見込まれており、組織力の分散が懸念される。働く仲間の声の結果である「連合の政策」が、幅広い政党や政治家の結果軸となるように、強い自覚と責任感を持って取り組みを展開するとともに、これまで以上に情報発信をおこない、構成組織・加盟組合・地域協議会を含めた組織が一丸となって闘える環境を整備することが必須である。

私たちは、来たる「第20回統一地方選挙」において、推薦候補者全員の勝利をめざし、連合埼玉17組合員の総力を結集して、最後の最後まで闘い抜くことをここに決議する。

2022年11月17日

日本労働組合総連合会  
埼玉連合会  
第23回地方委員会

全推薦候補予定者の勝利に向けて!



参加者全員によるガンバロー三唱



近藤会長と推薦候補予定者の皆様

## 【選挙日程】

選挙名	告示日	投票日
埼玉県議会議員選挙	3月31日(金)	4月 9日(日)
さいたま市議会議員選挙	3月31日(金)	4月 9日(日)
市議会議員選挙	4月16日(日)	4月23日(日)
町・村議会議員選挙	4月18日(火)	4月23日(日)



必勝決議を提案する関口副会長

<討議資料>

## 第23回地方委員会フォト



議長 高倉 茜地方委員(自動車総連)  
加藤弘樹地方委員(JAM埼玉)



書記 金木 優さん(青年委員会)  
牧 純子さん(女性委員会)

### 来賓のみなさま



埼玉県  
高柳三郎副知事



さいたま市  
吉田太特別秘書



埼玉県労働者福祉協議会  
金井浩副理事長



立憲民主党埼玉県連合  
田並尚明幹事長



国民民主党埼玉県連合  
黒澤三千夫幹事長



開会あいさつ  
今井信博副会長



第23回地方委員会アピール(案)の採択  
丹羽宝宏執行委員



閉会あいさつ  
竹内秀之副会長

## 近藤会長 テレビ埼玉「新春賀詞特別番組」出演のお知らせ



今年1月に放送されたときの近藤会長

近藤 嘉 会長出演の「新春賀詞特別番組」が  
下記日程で放送されます。  
ぜひ、ご覧ください。

**放送日:2023年1月1日(日)**  
**11:55~12:00**

**放送局:テレ玉(3ch)**



## ネットワークSAITAMA21運動(ネット21運動)

## 全組合員への周知・理解活動を展開し、一層の普及・拡大を!

## ネット21運動が目指していること

ネットワークSAITAMA21運動(以下、「ネット21運動」)は、連合埼玉ならびに埼玉労福協が推進母体となり、勤労者の暮らしを生涯にわたってサポートする運動や子育て・介護をはじめ、地域社会で解決しなければならない問題に取り組むため、労働運動や労働者福祉運動ならびに埼玉県内の様々なNPOや市民団体との連携をつうじ、働く者と地域の市民が出会い、理解しあって、勤労者の生活と暮らしを支え合う「共生の地域社会づくり」をめざす運動です。

## 具体的な活動は?

ネット21運動では、「共生の地域社会づくりへの積極的な参画」「勤労者の生涯にわたるサポート活動」「市民社会との連帯と協働」をめざして、3つのプログラムと特別事業に取り組んでいます。

## 1. ライフサポート・プログラム

- (1)生活や暮らしに役立つ情報・知識を提供する「暮らし応援セミナー」(出前講座)
- (2)勤労者のライフサポートの観点から必要な支援を進める「生活困窮者支援」

## 2. ボランティアサポート・プログラム

- (1)長い間培ってきた技能や特技を、地域活動(ボランティア活動、NPO活動等)で活かしてもらうことをめざす「シニア人財バンク制度」
- (2)毎年、尾瀬で実施している自然環境体験事業「夏休み親子・ファミリー自然体験」  
また、パソコン助成団体のひとつである「ときがわ山里文化研究所」と連携・協働して実施している「夏休み親子自然体験教室 山の学校inときがわ」

## 3. NPOサポート・プログラム

- (1)地域で活動・活躍するNPOなどの支援として「物品等助成事業」をおこなっています。その一つとして、16年前より毎年、パソコン助成をおこなっており、2022年度までに167団体に寄贈しました。また、「NPO応援・少額(物品等)助成もおこなっています。



2021年度パソコン贈呈式

(2)NPO活動への理解と具体的な社会参加をサポートする事業として、2017年度に“ネット21運動でつながるNPOと労働組合”と題しシンポジウムを開催しました。

2018年度以降は、より地域内の労働組合とNPOの連携が深められるよう「地域セミナー」を開催しており、2022年度は「孤独・孤立対策」をテーマに南部・西部地域で開催しました。



地域セミナーIN南部



地域セミナーIN西部

## 4. 東日本大震災被災者・避難者支援活動 ※特別事業

2013年度より、家族の絆づくり、子育て支援などをコンセプトに「バーベキューファミリー交流会inサイボクハム」「ママランチ会」などを実施しています。

## ボランティアカードの購入で「ネット21運動」への参加と協力を

ボランティアカードは、「ネット21運動」への協力の証として発行されるものです。ご協力をいただいたカード協力金(500円)の内、契約料やカード代などを差し引いた額が「ネット21運動」を支える基金となる「ふれあいコミュニティ・ファンド」に寄付され、各種セミナーやNPOへの支援などの様々な事業に活用されています。



詳細はホームページ

ボランティアカード

(<https://net-saitama21.jp>)でご確認ください。

## ～普及・定着のための説明会を～

構成組織、加盟組合、地域協議会主催の会議で説明会を開催してください。お時間を頂ければ事務局を派遣して「ネット21運動」の意義やプログラムの内容、ボランティアカードの役割と特典などについて説明させていただきます。

実施期間は、2023年1月31日(火)まで。

ぜひ、この機会にお声掛けください!

## ネットワークSAITAMA21運動

## NPOを応援・支援するためにパソコンを贈呈

ネット21運動では、「NPO応援・物品助成プログラム」の取り組みの一つとして、毎年、NPO団体などに対してパソコン贈呈をおこなっています。

今年度は28団体からの応募があり、運営委員会による厳正な審査の結果、右表の10団体が当選いたしました。(合計167台寄贈)

パソコン贈呈式は、11月17日(木)ときわ会館で開催した「連合埼玉第23回地方委員会」の開会前に同会場にておこない、贈呈式後にはNPOと運営委員会による意見交換会もおこないました。今回を契機に「社会連帯」「共生社会」の実現に向けた協力関係を築いていきたいと考えています。



2022年度パソコン贈呈式

## 【贈呈団体一覧】

- ①NPO法人ふうせん(蕨市)
- ②NPO法人うりんこくらぶ(久喜市)
- ③NPO法人ワーカーズコレクティブこうさてん(鴻巣市)
- ④NPO法人スマイルキッズ(鴻巣市)
- ⑤いるま学習支援の会(入間市)
- ⑥NPO法人上福岡障がい者支援センター21(ふじみ野市)
- ⑦NPO法人北本福祉の会 かがやきの郷(北本市)
- ⑧NPO法人さいたまシニアパソコン友の会(さいたま市浦和区)
- ⑨NPO法人八潮市学童保育子どもの遊び場ネットワーク(八潮市)
- ⑩NPO法人エシカルプロジェクト(本庄市)

## 現在予定される12月の日程表です

12月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	木		北方領土返還要求アピール行動(10:00～・日比谷公園)
2日	金		①県央地域協議会「第15回定期総会」(18:00～・UDトラックス労働組合) ②朝霞・東入間地域協議会「第5回幹事会」(18:00～・日本梱包運輸倉庫労働組合) ③西部第四地域協議会「第7回地協委員会」(18:30～・ヘリテージ飯能)
3日	土		
4日	日		
5日	月		連合「第5回全国最低賃金対策会議」(14:00～16:00・WEB開催)
6日	火	第1回四役・執行委員会(10:00～・13:00～・埼玉会館)	
7日	水	第4回ライフサポートステーション運営会議(15:00～・あけぼのビル)	
8日	木		埼玉労働局「令和4年度第1回埼玉地方労働審議会」(9:45～・プリランテ武蔵野)
9日	金		①中央労働金庫「第5回運営委員会」(15:00～・中央労働金庫会議室) ②朝霞・東入間地域協議会「第6回地協委員会」(18:30～・日本梱包運輸倉庫労働組合) ③比企地域協議会「第34回地協委員会」(18:00～・ガーデンホテル紫雲閣)
10日	土		
11日	日		
12日	月	①ネット21「第7回運営委員会」(10:00～・あけぼのビル) ②第1回拡大アドバイザー会議(14:00～・ネット21大宮)	
13日	火		①連合関東ブロック「定期総会」(13:30～・ラングウッド) ②三芳町長選挙告示日
14日	水		
15日	木		
16日	金	第20回統一地方選挙「第1回地協選対合同委員会」(14:00～ 12/17 11:00・キングアンバサダーホテル熊谷)	カスタマー・ハラスメント対策シンポジウム(13:30～・Zoom開催)
17日	土		
18日	日		三芳町長選挙投票日
19日	月		第4回全国男女平等推進委員会、第7回構成組織・地方連合会女性代表者連絡会合同連絡会(13:30～・連合会館)
20日	火		さいたま市地域協議会「第11回幹事会」(18:30～・浦和コミュニティセンター)
21日	水	埼玉シニア連合「第1回四役会・執行委員会」「第3回実行委員会」(13:00～・14:10～・15:40～・あけぼのビル)	
22日	木		
23日	金		
24日	土		
25日	日		
26日	月		
27日	火		
28日	水		
29日	木		
30日	金		
31日	土		

1月4日まで冬期休暇



### <はじめに>

先月の第23回地方委員会で、第17期の「2022～2023年度運動方針」の補強をおこない、2023年度をスタートしました。

なかでも、運動基盤の強化に向けて、すべての働く仲間の「必ずそばにいる存在」として、連合運動に対する組織内外のコミュニケーションの活性化をめざすとともに、「ジェンダー平等推進計画」フェーズ1の実践をつうじて、ジェンダー平等の視点を連合運動のあらゆる側面に反映して、運動の活性化をはかるとしています。

このような運動方針から「連合のあらゆる運動にジェンダー平等の視点を」について、考えてみたいと思います。

### <男女平等からジェンダー平等へ>

「ジェンダー平等」という言葉は、以前は「男女平等」という言葉で、私たちの運動の中で取り組んでいました。

連合では、1991年に男女平等を推進するために策定した「第1次男女平等参画推進計画」を10年間取り組み、1999年には、男女が互いにその人権を尊重し、能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現のための「男女共同参画社会基本法」が作られました。その後、「第2次(2001年)～第4次プラス(2021年)」と取り組む中で、男女平等推進を進めてきました。

一方、日本国憲法第14条では、「性別により差別されない」という平等原則を定めています。

しかしながら、「性別」は、生物学的な性差を意味するところから、世界的にも、性の多様性、性自認の尊重も含めて、性別にかかわらず個人を尊重すること、すなわち多様性の尊重であるとした「ジェンダー平等」への取り組みへと整理しています。

そして、連合においても、2021年に「ジェンダー平等推進計画」フェーズ1が策定されました。

### <ジェンダー・ギャップ指数>

ジェンダー・ギャップ指数は、経済・政治・教育・健康の分野で世界各国の男女間の格差を示す指標として、非営利財団の世界経済フォーラムが2006年から世界男女格差レポートにて公表しています。

2022年7月に公表された日本のジェンダー・ギャップ指数は、146カ国中116位と低迷しています。また、先進国との比較では最低レベル、アジア諸国においても韓国や中国、ASEAN諸国より低位となっています。

特に政治分野(139位)と経済分野(121位)の低迷が著しい状況となっています。このような状況を見ると、日本の男女間格差は大きな課題と言えます。政治分野では、女性議員が少なく、意思決定の関わりが低いことへの課題

や、経済面については男性と比べて女性の非正規雇用が多く、賃金水準など低位の処遇となっていることが大きな要因となっています。

### <ジェンダー主流化と労働組合活動>

ジェンダー主流化とは、一見、ジェンダーに中立的に見える取り組みが、どのように男女に異なる影響を与えているかを分析し、その取り組みの作成過程に反映させることを示します。

従って、あらゆる分野の取り組みを実行した場合のジェンダーへの影響を分析し、その分析に沿ってジェンダー格差を浮き彫りにし、その分析に沿って予算や資源を再分配し、ジェンダー格差を是正することを目的にしています。例えば、国や産業レベル、職場の労使の取り組みが男性、女性にどのような影響を与えているのかを可視化し、ジェンダー平等をめざすための課題が認識できることとなります。

まさに、「連合のあらゆる運動にジェンダー平等の視点を」の取り組みは、「ジェンダー主流化」であり、私たちの労働運動のさまざまな取り組みにおいても、「ジェンダーの視点」でチェックしてみることにあります。



熊谷市立「荻野吟子記念館」

### <道を拓く>

埼玉県の熊谷市俵瀬には、日本で初めて女医として活躍し、女性医師への道を拓いた「荻野吟子記念館」があります。

江戸時代の末期に生まれ、18歳で嫁ぐも不慮の病により離婚、婦人科治療を受けた辛い経験から、自ら医師となることを決意しました。その後、東京女子師範学校(現お茶の水女子大学)を卒業し、私立医学校好寿院に進み、女医をめざします。

しかし当時は、女性に医術開業試験の受験を認められず、その道は閉ざされていました。そのために、多くの女性たちが試験を受けるために奔走している中、直接、衛生局長に陳情するなど、先頭に立って活動をおこないました。

その結果、女性に医術開業試験が認められ、唯一の合格者となりました。その後、医院を開業し、医師として医療に力を尽くす一方、女性社会運動の先駆者の一人として活躍し、女性の地位向上や衛生知識の普及に大きな貢献をしました。

私たちのジェンダー平等・多様性推進の取り組みは、私たちのあらゆる運動の道を拓くことにつながるのだと感じています。

2022.11.18